

決算発表説明資料

(平成30年3月期第2四半期)

- 連結決算（経営成績）
 - 工作機械関連事業部門
 - 受注動向
 - 輸送機器関連事業部門
 - 財政状態



連結決算 (経営成績)



公表＝前回業績予想(8/9)
(単位:百万円)

【前年同期比較】

【受注 好調継続】

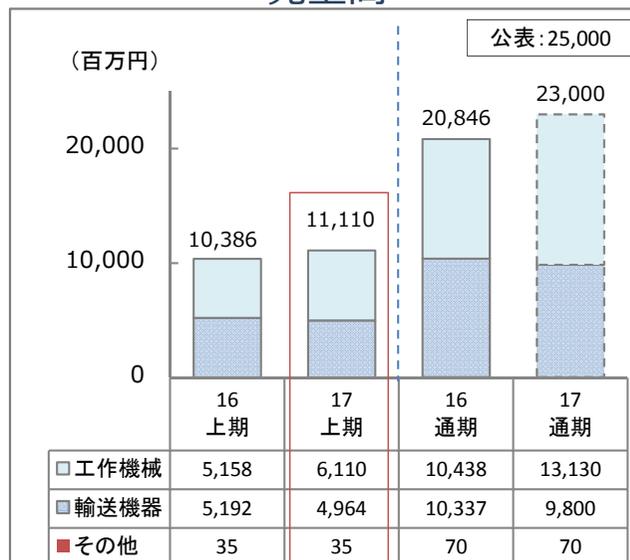
【上期 黒字化達成 通期 黒字回復へ】

国内、海外ともに継続して受注が取れております。(p.3参照)

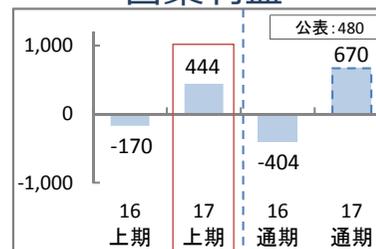
上期につきましては、工作機械関連事業部門の増収増益および輸送機器事業部門の増益により、売上高11,110百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益444百万円(前年同期は170百万円の損失)と黒字化の目標を達成しました。

通期につきましては、工作機械関連事業部門の売上増により増収、両事業部ともに下期は上期に対しては利益減となる見込みですが黒字は確保できる見通しであり、売上高23,000百万円(前期比10.3%増)、営業利益670百万円(前期は404百万円の損失)と黒字回復する見込みです。

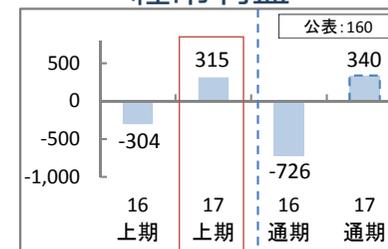
売上高



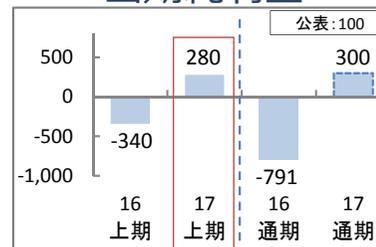
営業利益



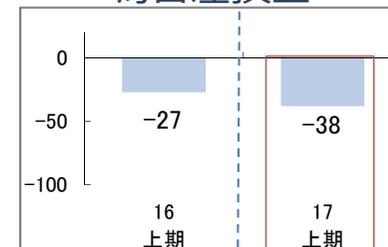
経常利益



当期純利益



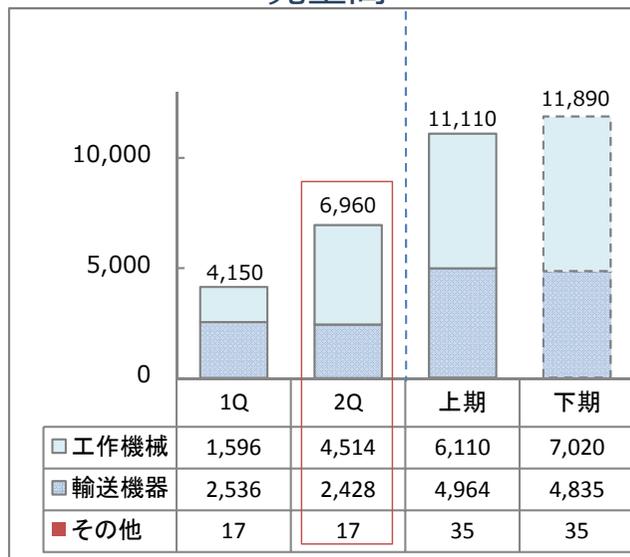
為替差損益



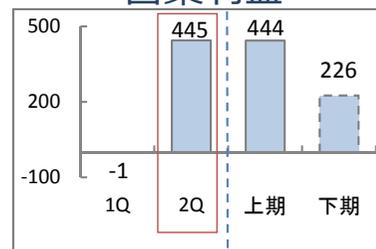
※17/通期は予測

【四半期比較】

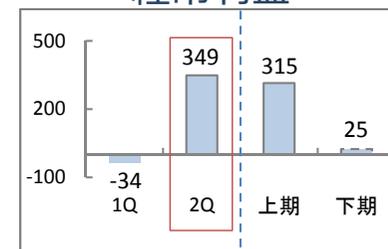
売上高



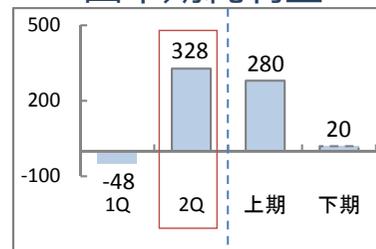
営業利益



経常利益



四半期純利益



※下期は予測

工作機械関連事業部門（経営成績）

● 2017年度 第2四半期業績概要

売上高につきましては、本社受注が計画を上回る好調が続いているのを背景に、国内・海外ともに売上を伸ばし、売上高6,110百万円（前年同期比18.5%増）となりました。

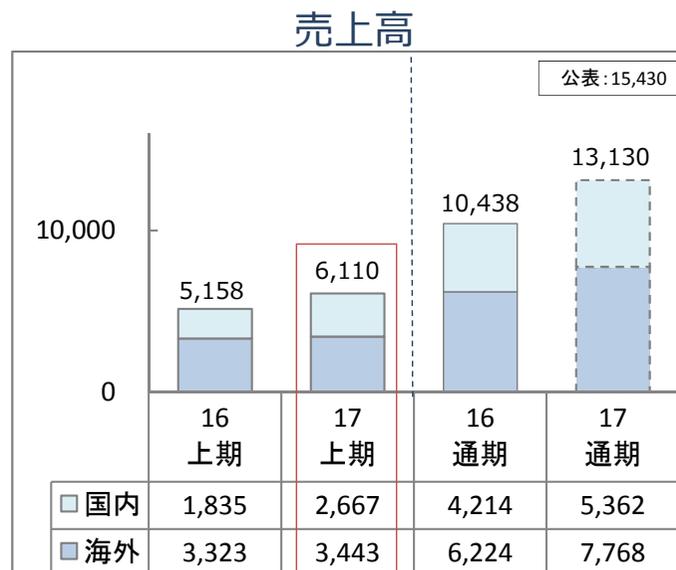
営業利益につきましては、現地法人の在庫処分が順調に進んだこともあり、営業利益127百万円（前年同期は268百万円の損失）と黒字化を達成致しました。

● 2017年度 通期業績見通し

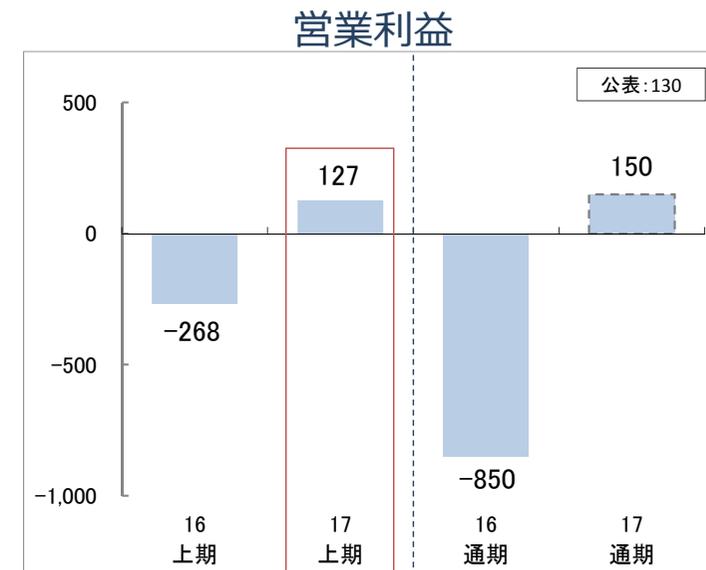
売上高につきましては、ズレ込み等により前回（8/9）公表から減少するものの、受注の回復に伴い前期に対しては大幅増となる売上高13,130百万円（前期比25.8%増）を予想しております。

営業利益につきましては、下期も昨年受注した採算の厳しい案件が続きますが、施策効果により営業利益黒字は確保できる見通しであり、営業利益150百万円（前期は850百万円の赤字）と黒字回復を予想しております。

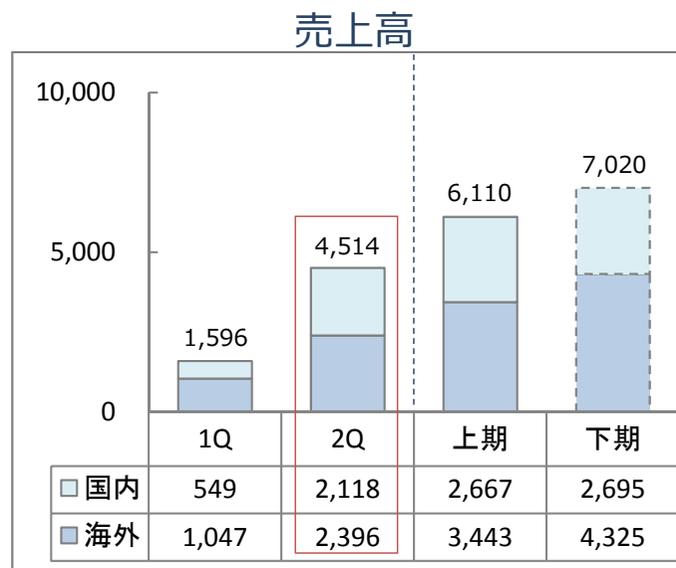
【前年同期比較】



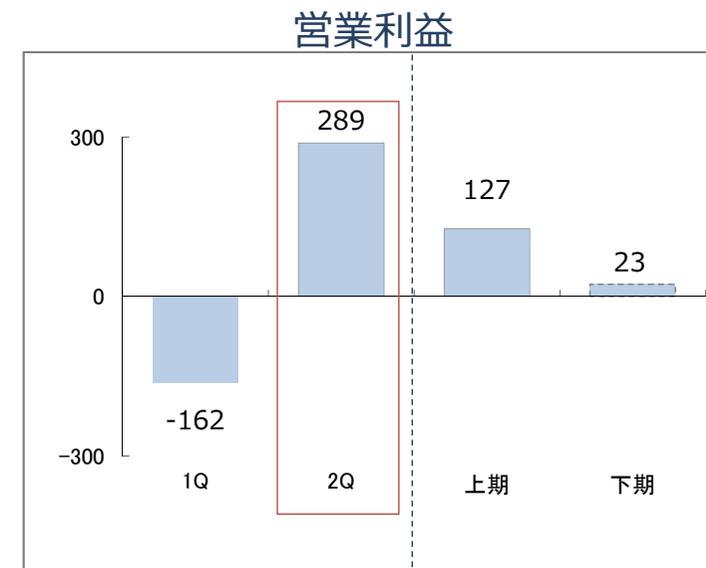
※17/通期は予測



【四半期比較】



※下期は予測

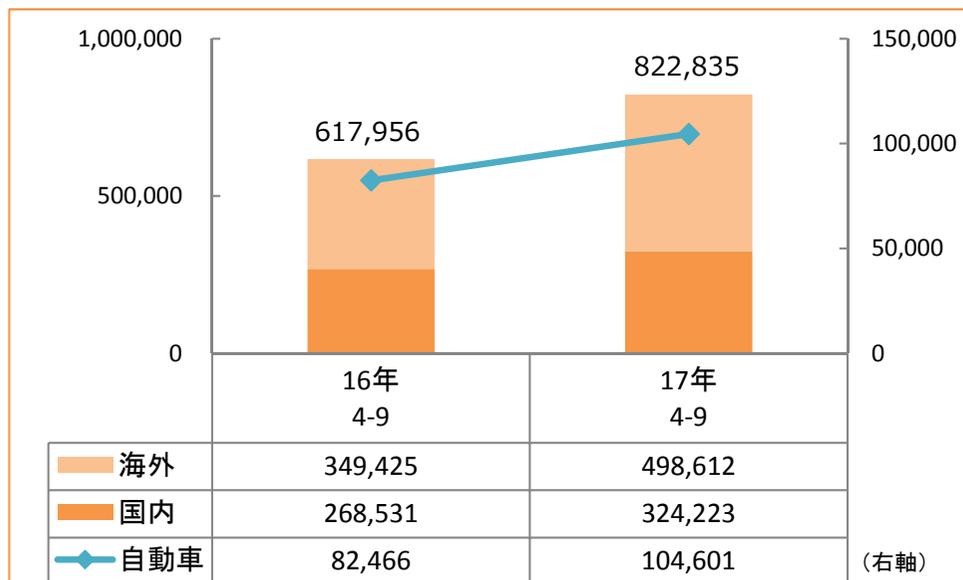


【四半期推移】

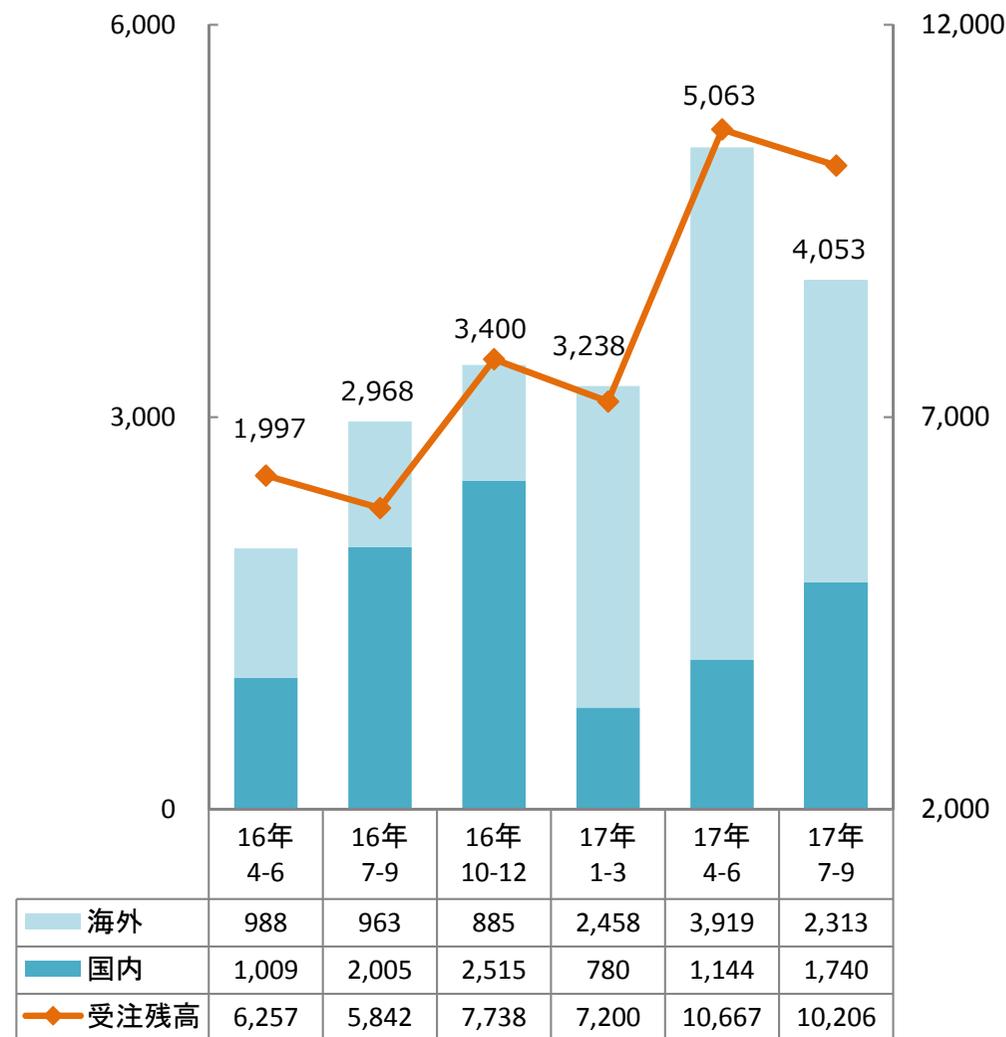
中国、北米を中心とした海外および国内ともに継続して受注が取れており、上期(4-9月)受注高は90億円を超える高い水準となりました。下期(10月-3月)も引き続き、より多くの受注確保に努めてまいります。

また、引合数を維持するための「営業力強化」、受注率を高めるための「提案力強化」を継続して図ってまいります。

☆日本工作機械工業会受注推移



☆当社の連結受注高及び連結受注残高推移



輸送機器関連事業部門 (経営成績)

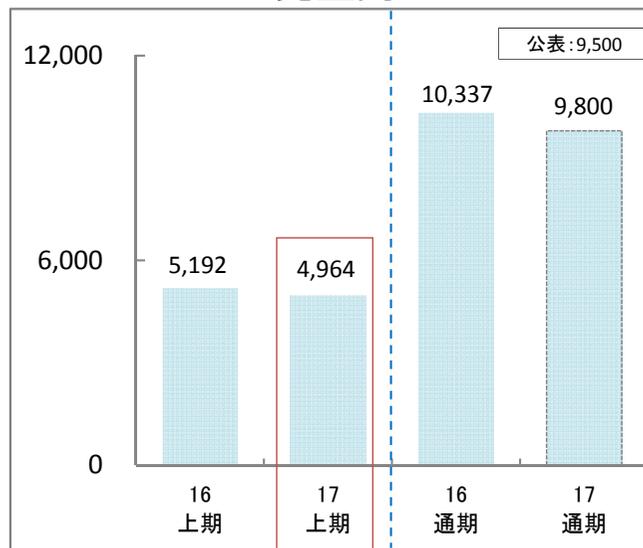


公表＝前回業績予想(8/9)

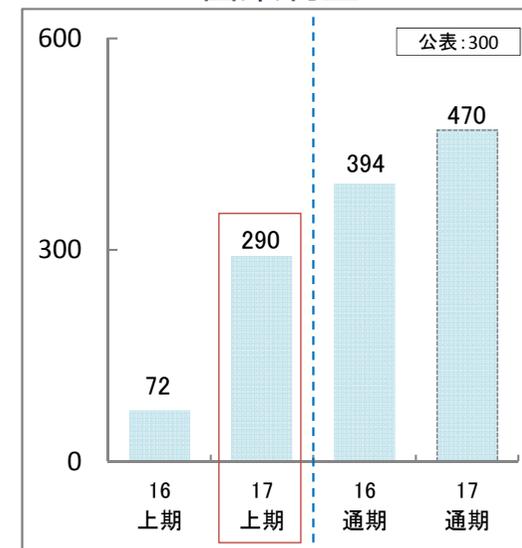
(単位:百万円)

【前年同期比較】

売上高



営業利益



※17/通期は予測

●2017年度 第2四半期業績概要

売上高につきましては、ベトナム現地法人の生産は着実に増えておりますが、国内は減収となり、売上高4,964百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

営業利益につきましては、ベトナム現地法人の売上増に加え、国内のコスト圧縮施策の効果により、営業利益290百万円（前年同期比301.4%増）と安定した利益が確保できております。

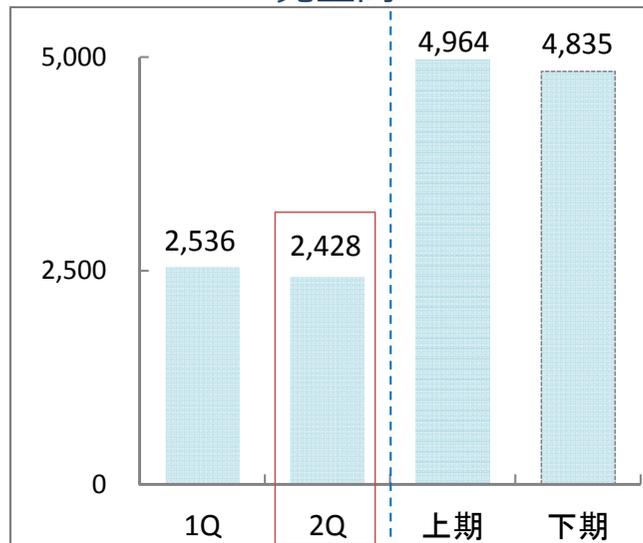
●2017年度 通期業績見通し

売上高につきましては、ベトナム現地法人の生産は安定しておりますが、下期はトラック等の生産減により上期に対して国内は減収となるため、売上高9,800百万円（前期比5.2%減）を予想しております。

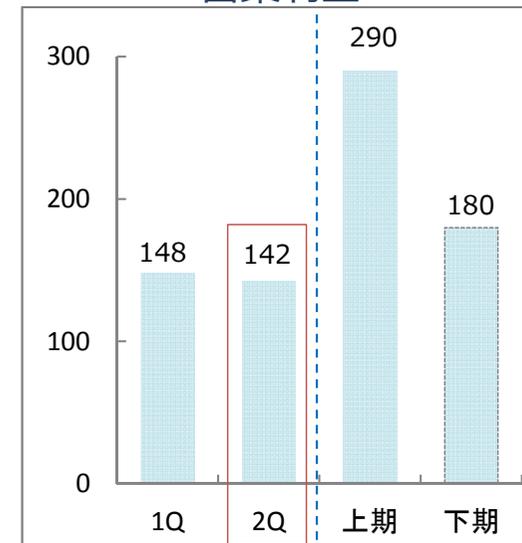
営業利益につきましては、下期国内減収の影響はありますが、ベトナム現地法人は安定した利益が確保できる見通しであり、営業利益470百万円（前期比19.1%増）を予想しております。

【四半期比較】

売上高



営業利益



※下期は予測

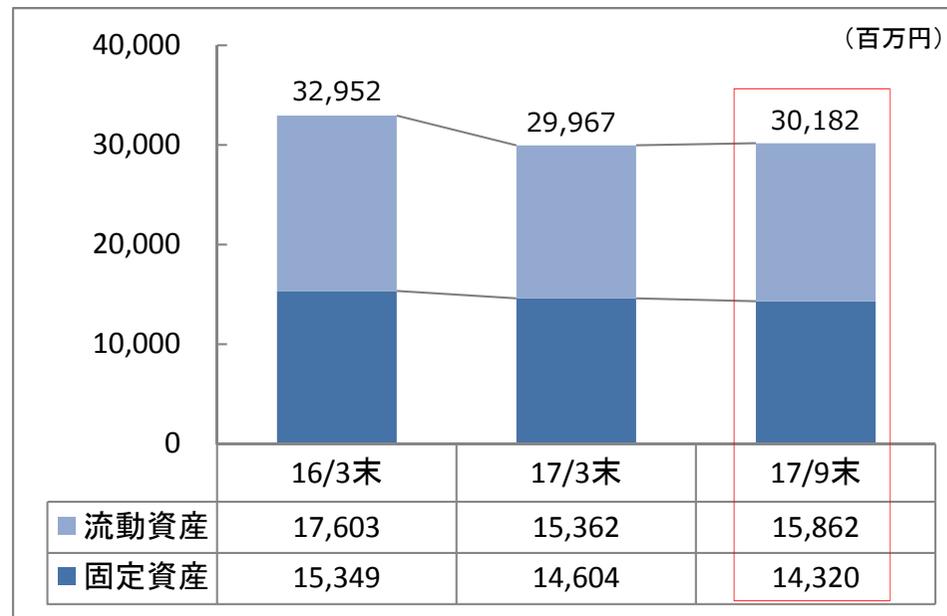
総資産

●財政状態

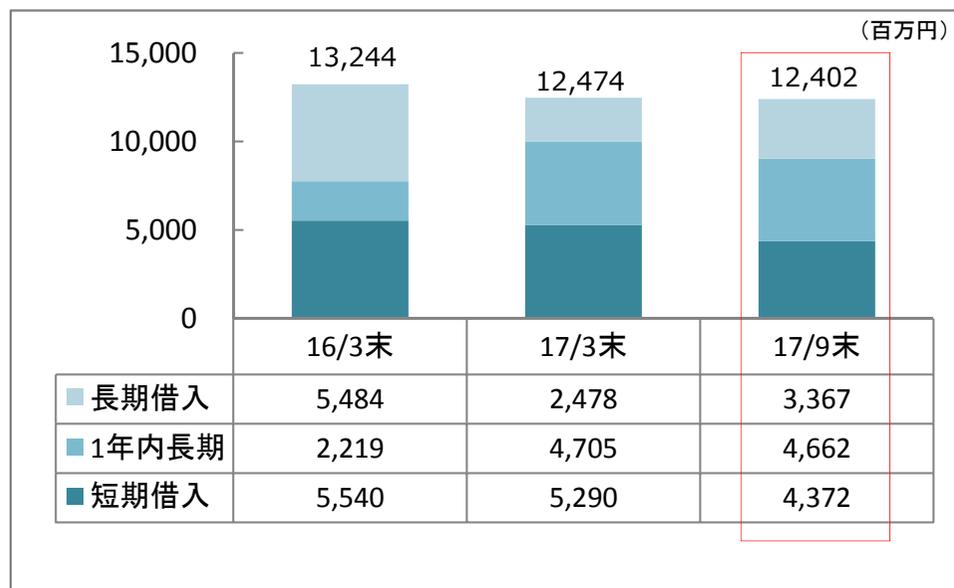
下期売上予定の棚卸資産増により、総資産は若干増えております。

(総資産17/3末比 +215百万円)

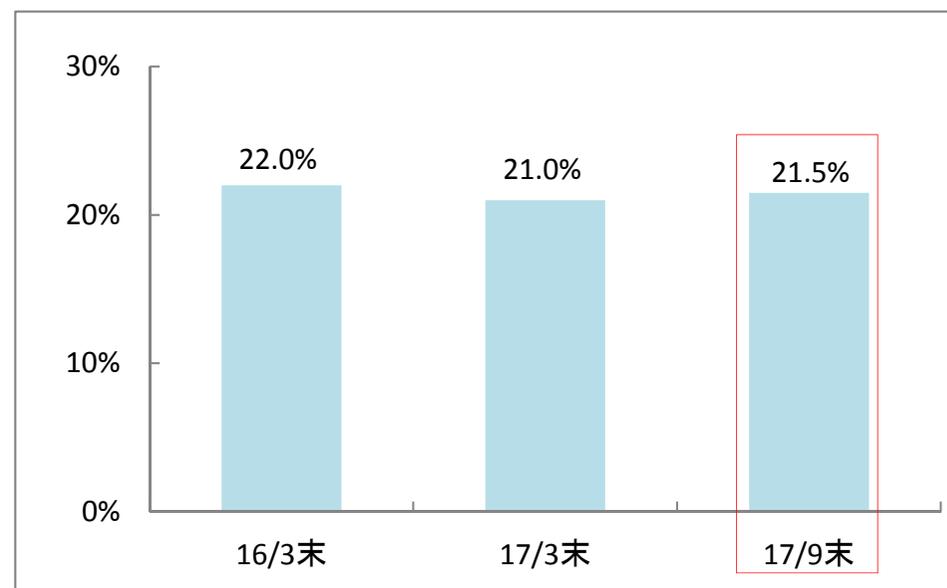
(借入金17/3末比 ▲72百万円)



借入金



自己資本比率



注記事項

本説明資料に記載いたしました業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。